

令和4年4月15日  
保健福祉政策部  
世田谷保健所

## 新たな世田谷区PCR検査センターの体制について

### 1 主旨

標記の件については、3月9日（水）開催の福祉保健常任委員会において、検討状況を報告し、その後も関係機関との協議を進め、新たな検査センターの開設に向けての方向性を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

### 2 移転に対する考え方

区では、有症状者や濃厚接触者等に対するPCR検査のうち、世田谷保健所及び世田谷区医師会が協働して行っているPCR検査センターについては、施設が老朽化し、空調や電気系統に不具合も生じるなど、より安全な環境の確保が急務となっている。

そのため、先般報告のとおり、検査を休止することなく移転の準備を開始し、円滑に検査ができる体制を構築する必要がある、検討にあたり、世田谷区医師会と協議するとともに、その移転先となる区内医療機関敷地が候補である東京都とも協議してきた。

#### (1) 施設老朽化について

現在使用中の世田谷区PCR検査センターについては、排煙装置や冷暖房装置の不具合が生じるほか、漏電、雨漏り、エレベーターなども同様であり、その都度必要最低限の修繕・点検を繰り返し、PCR検査が止まらないよう対応している。

#### (2) 東京都の対応について

東京都病院経営本部に対し、令和4年4月以降の医療機関敷地使用の延長を申し入れるとともに、現行のトレーラーハウスの形態から、より多くの患者を受け入れられるよう、プレハブ仕様による仮施設設置の協議をしてきた。

区の申入れに対し、東京都から2月25日に設置許可について、対応可能な旨の回答を得られ、その後も協議を継続した結果、6月1日からの移転、運営開始を想定し準備することです承された。

#### (3) 更なる体制拡充の検討について

移転先候補地の地域性および利便性を踏まえ、また、今後の感染拡大時の更なる検査需要に対応するため、追加のPCR検査センターの設置による体制拡充について早急に調整する。

### 3 新たな保健所の検査体制

令和4年度より効率的に運用し、かつ区民の利便性を高める観点から、民間事業者への一括委託による検査を実施する。

#### 【委託内容】

- ・医師、看護師配置、受付事務配置、現地での統括責任者配置、予約受付、被検者への検査結果返し、廃棄物処理（医療廃棄物処理・産業廃棄物処理）、消毒、物資（PPE等）管理 等

	令和3年度		令和4年度	
	通常時	感染拡大時最大	通常時	感染拡大時最大
ブース	2	2	3	5
時間	月～金 (祝日含む) 13時～17時	月～金 (祝日含む) 13時～19時	月～土(祝日含む) 9時30分～12時30分	月～日(祝日含む) 9時30分～12時30分 15時30分～17時30分
件数/日	144	216	162	450
件数/週	720	1,080	972	3,150

※追加のPCR検査センターの設置による検査体制については現在検討中。

#### 4 移転後の検査体制

実施主体	世田谷保健所	世田谷区医師会
実施形態	民間事業者への委託(行政検査)	区委託(保険診療)
検査内容	PCR検査	PCR検査
ブース数	1～5ブース	1～5ブース
医師	民間事業者委託	会員医師が従事
看護師		2名以上(世田谷区医師会で配置)
事務職		2名以上(世田谷区医師会で配置)
施設管理	区で維持管理(清掃・消毒を実施)	
物品管理	都配給の物品、区・世田谷区医師会双方で購入した物品を区・世田谷区医師会で共有管理	
検査時間	平日・土曜 9時30分～12時30分 (日曜は休) ※年末年始、大型連休、祝日は実施	平日 13時～15時、18時～19時30分 土曜・日曜・祝日 13時～15時、17時～22時

#### 5 概算経費

##### (1) 世田谷保健所分

498,359千円

【内訳】PCR検査センター検体採取等業務委託 316,515千円

(既存予算で対応分 140,430千円、補正予算で対応予定 176,085千円…①)

PCR検査センター核酸検出検査委託 181,844千円

(既存予算で対応分 90,922千円、補正予算で対応予定 90,922千円…②)

※感染拡大時の更なる体制変更は今後の補正予算等にて対応予定

##### (2) 保健福祉政策部分

113,007千円

【内訳】世田谷区医師会PCR検査センター事業委託 77,386千円

検査センター仮設建築物等借入 20,900千円 ※…③

検査会場案内誘導委託 14,721千円 ※…④

※補正予算にて対応予定

①～④の合計302,628千円について、地方自治法第179条第1項の規定に基づく区長専決処分を行い、令和4年第1回区議会臨時会において承認を求める予定である。

<特定財源> 151,313千円 感染症予防事業費等負担金（国）1/2

※残りの区負担分については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時  
交付金に算定される予定（実質全額国負担）

6 今後のスケジュール

令和4年4月中旬以降	医療機関敷地内での仮設プレハブ設置工事開始
5月末	設置工事終了
6月1日～	仮設プレハブ施設において検査開始
6月以降	追加のPCR検査センターにおいて検査開始